

# 動物の飼育実習を行うにあたって

市立大町山岳博物館

## 1 実習の注意点

- (1) 博物館で飼育している動物たちは、すべて**野生動物**です。ペットとは違いますので、どの動物の飼育舎に入るときも、動物の行動をよく観察し、油断しないようにしてください。**(動物に対して、すきを見せないこと)**  
また、動物に背中を見せて作業することは、とても危険です。常に動物の居場所や、様子に気を配るようにしてください。
- (2) 動物の飼育舎に入るときは、動物を驚かさないうえに、必ず動物に**声をかけて**からはいるようにしてください（「おーい、これから入るよー」など）。
- (3) 動物が興奮して暴れたり、攻撃してきたりと思ったり様子がおかしいと思ったり、動物を怖いと思ったりときは、**1人で作業をせず、2人以上で作業**してください。
- (4) 作業中の扉の開閉には、動物の行動に注意してください。そして、**作業後の扉の施錠は、必ず確認**してください。
- (5) 飼育舎や放飼場は、清潔にしてください。
- (6) 飼育舎内の飲み水を確認し、きらさないようにしてください。
- (7) 作業に使用した道具（スコップ・バケツ・ホースなど）は、泥や汚れを落とし、きちんと整理してください。
- (8) 事故やケガを防止するため、動きやすい服装で作業してください。
- (9) 飼育舎は必ず長靴で入室し、各飼育舎から管理舎へ戻ったら、毎回必ず液体の消毒槽で靴底を消毒してください。
- (10) **作業の前と後には必ず手を洗ってください。**（これは、博物館の外から飼育動物にかかる病気の持ち込みを防ぐとともに、飼育動物から人間への病気の感染を防ぐためです）

## 2 服装

- ・ 普段の通学時の服（学生服など）で来館してください。（作業前に着替えます）
- ・ 運動靴（飼育舎での作業前に長靴に履き替えます）

## 3 持ち物

- ・ 長袖・長ズボン（汚れてもよく、動きやすいもの。体操着などで可）
- ・ 長靴
- ・ ゴム手袋（水を使う作業で使用します）。
- ・ 雨具（上下別になっているタイプ。雨天時の作業で使用します）
- ・ 手ぬぐいまたはタオル（頻繁に手洗いをします。また、汗をぬぐいます）
- ・ 水筒またはペットボトルの飲み物（屋外での作業が多いため、こまめに水分補給をします）
- ・ 昼食
- ・ 筆記用具
- ・ 着替え用の半袖シャツ（暑い時期の作業では、汗をかいたら着替えます）
- ・ 来館時の服を入れておく袋（作業前に着替えた服を入れて置いておきます）